

第7回「震災対策技術展」大阪に於ける事故防止・公衆衛生対策について

「震災対策技術展」大阪 事務局は、会場となるコングレコンベンションセンターと連携し、事故防止、公衆衛生等につき、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の事務連絡「11月末までの催物の開催制限等について（令和2年9月11日）」および、大阪観光局「感染症拡大のリスクを抑え、MICEを開催するための主催者向けガイドライン（2020年8月28日）」を踏まえて、以下の対策を講じます。

1. 衛生対策

1) 会場（コングレコンベンションセンター）が実施する対策

- (1) 大阪コロナ追跡システムの導入。
- (2) 卓上型自動検温器の導入。
- (3) 会場内の空調他、常時換気の実施。
- (4) トイレ内手洗い設備には、液体石鹸を設置、定期的に補充。
- (5) トイレ便座クリーナーを各個室に設置。
- (6) 従業員のマスク着用、従業員による手すり、ドアノブ、取手等の消毒を実施。
- (7) 館内に自動噴射式アルコール消毒液を3ヵ所に設置。

2) 事務局が実施する対策

- (1) 「咳エチケット」、「手洗い」、「感染症対策」に関する感染症対策ポスター（厚生労働省発行）を掲示し、感染拡大防止の周知徹底を図ります。
- (2) 会場入口、受付、セミナー会場、共用スペース等に消毒液を設置、トイレに消毒液、ペーパータオルを定期的に補充し、常に使用できる状態にします。
- (3) 全ての来場者に体温検査を実施し、37.5℃以上の方の入場をお断りします。
- (4) 全ての来場者に「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」のインストールならびに、「大阪コロナ追跡システム」を登録いただきます。
※ 登録用端末をお持ちでない方には、連絡先をご記入いただき、後日連絡ができるようにします。
- (5) セミナー実施時は、室内の換気徹底、空気清浄機の使用、席数を削減し座席の間隔を広げ、講師と聴講者の距離を2m離し、飛沫感染防止板を設置、感染症予防に努めます。
- (6) 出展者・来場者共に、会場内でのマスク着用を要請します。
- (7) 大声での会話は、お控えいただくよう要請します。
- (8) 飛沫感染対策備品を用意し、感染症予防にご留意いただきます。

※ 安全な開催を心掛けるため、今後の状況に注視し、政府、大阪府・市の対応を鑑みながら、適切な措置を講じます。

2. 事故防止対策

- 1) 会場内出入口、非常口前、廊下、ロビー等に、障害物を置かないよう徹底します。
- 2) 催物会場等、顧客が集中する場所については、収容人数を把握するとともに、適切な誘導整理が行なえるよう警備員を配置し、管理します。
- 3) 自衛消防隊を組織し、火災その他災害発生時には、コングレコンベンションセンターと連携し、すばやく対処します。

以上

2020年9月11日（金）現在